

神経細胞がアミロイドに攻撃され、どんどん神経の中に入ってきたとします。そうなってくると、もう神経細胞は神経ホルモン(神経伝達物質)を他の神経細胞に送って、情報を伝達する余力がなくなります。そして神経細胞は死んでいくのですが、この時期が「第三段階」です。

一つの神経細胞が死ぬことは、何と1万個以上の他の神経細胞と連絡しあっているのです。

すなわち1つの神経細胞の死により1万個以上の神経細胞が情報不足に陥るという事になります。

情報が入ってこなくなると、次の場所に情報を送る事はできません。こうして情報不足で、

弱っていく神経細胞が増えていくのです。

認知症の薬というのは、不足した神経ホルモンを補充する働きをするのですが、神経ホルモンは、訓練でも分泌することができます。

薬を飲むにしても、神経ホルモンを自分でも、増やす様に努めなければ、十分な効果は得られません。神経ホルモンが、分泌される為にはヒマであってはいけません。